

ニライの都市をめぐす



議会だより

No. **63**
2011年 3月定例会
発行
2011年 5月



平成23年度一般会計予算可決	P2~3
平成23年度予算の重点施策事業	P4~5
北谷町平成22・23年度事業箇所紹介	P6~7
平成23年度特別会計予算	P8~9
条例の改正・請負契約	P10
追跡・フィッシャリーナ整備事業	P11
平成22年度 一般会計・特別会計補正予算	P12~13
抗議決議・意見書・陳情	P14
一般質問	P15~23

13人が登場

新入生児童あいさつ・元気いっぱい! (北玉小学校)



平成23年度一般会計予算可決

のまちづくり

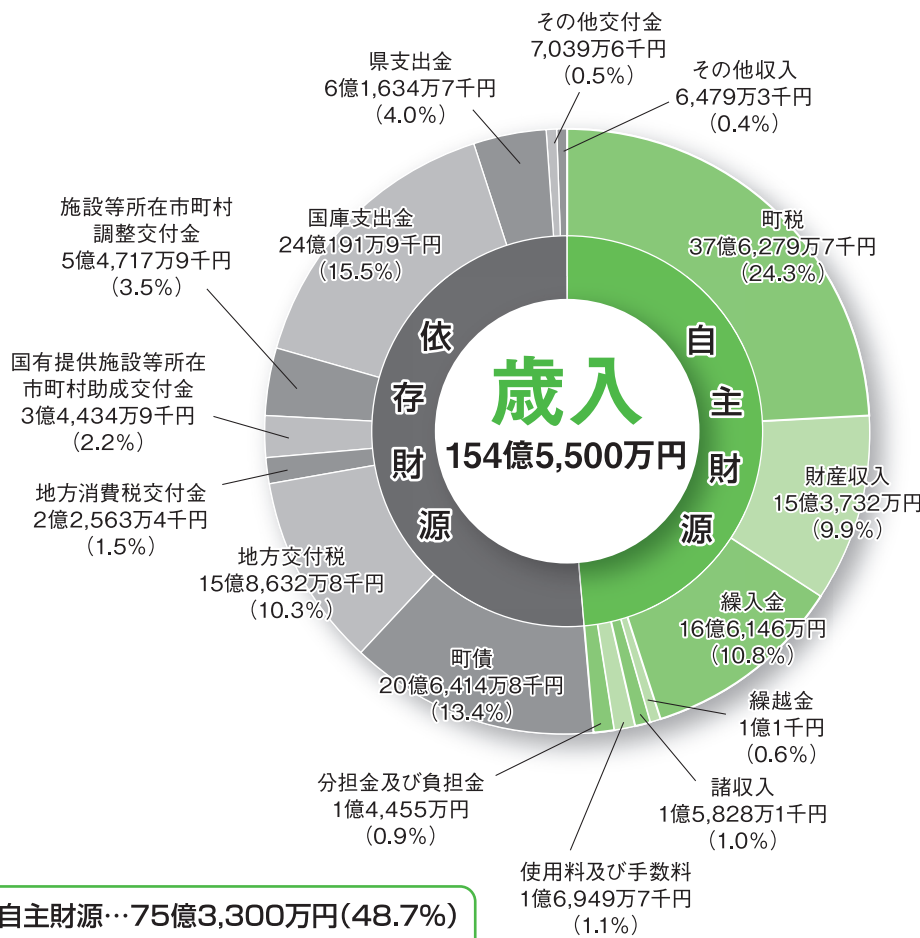
(約32億円増)

予算編成

平成23年3月定例議会にて、23年度一般会計予算、条例の改正などの議案が提出され、各特別委員会での質疑・原案通り可決しました。

平成23年度で、前年度予算額に比べて31億9,500万円の増。

厳しい経済情勢の中、昨年に引き続き町福祉の向上、地域経済の活性化、教育環境の整備促進に重点を置いた予算編成となっています。



■自主財源…75億3,300万円(48.7%)
 ■依存財源…79億2,200万円(51.3%)

歳入予算増減のポイント

◆増加(対前年度比)

●町税

- ① 固定資産税(1億3,989万円) 土地の負担調整、新築家屋の増等による。
- ② 軽自動車税(309万円) 課税台数増加による。
- ③ たばこ税(1,095万円) たばこ税値上等による。

●国庫支出金(3億628万円)

主に子ども手当国庫負担金増。

●町債(15億1,460万円)

伊礼原遺跡用地取得事業の財源とするため。

●国有提供施設等所在市町村助成交付金(133万円)前年実績による。

●施設等所在市町村調整交付金(193万円)前年度実績による

●諸収入(4,239万円)

財産収入(13億271万円) 桑江伊平土地区画整理事業保留地処分金。

◆減少(対前年度比)

●町税

- ① 町民税(8,268万円) 景気低迷の影響による。

●地方特例交付金(633万円)

●地方交付税(353万円) 固定資産税増に伴う基準財政収入額の増による。

●使用料及び手数料(147万円)

減免対象団体の使用増加による。

●県支出金(3,126万円)

繰入金(8,229万円) 基金繰入金の減による。

このように使われますみんなの税金!

154億5,500万円

対前年度比26.1%増

用語解説

◆自主財源

町が自主的に収納することができる財源で、財産収入・町税など。

◆依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

◆町税

町民税や固定資産税、軽自動車税、入湯税、たばこ税など。

◆地方交付税

一定水準の行政を維持するために必要な額を補償する財源で、国が交付する。

◆国庫、県支出金

事業などの特定目的の財源として国、県から交付される。

◆国有提供施設等所在市町村助成交付金

国有資産・施設等が所在する市町村に固定資産税の代替え財源として交付されるもので、一般に「基地交付金」と言われている。

◆施設等所在市町村調整交付金

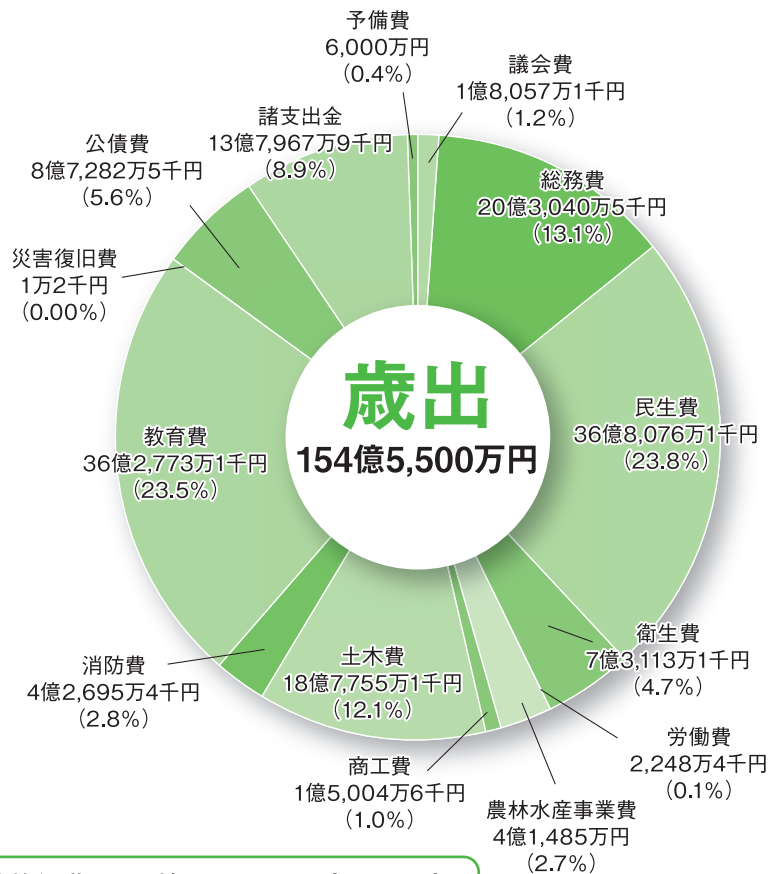
米軍資産、施設が所属する市町村の財政補給的な性格の交付金。

◆扶助費

医療費や生活扶助等で支出される経費。

◆公債費

借り入れた元金償還金。



義務的経費…49億4,000万円(32.0%)
 投資的経費…47億円(30.4%)
 その他経費…58億1,000万円(37.6%)

歳出予算増減のポイント

◆増加(対前年度比)

●議会費(4,407万円)

地方議会議員年金制度廃止に伴い議員共済負担金の増による。

●総務費(7億5,714万円)

総務管理費の庁舎用地取得事業費の計上等による

●民生費(5億4,537万円)

社会福祉費、国民健康保険特別会計繰出金、子ども手当措置費増加等による。

●衛生費(8,431万円)

国のワクチン接種緊急促進事業に伴う予防接種委託料の増加、塵芥車購入事業等による。

●土木費(2億3,969万円)

桑江伊平区画整理事業、宇地原及び北玉公園整備事業費等による増。

●消防費(3,087万円)

●教育費(13億7,682万円)
 浜川小学校校舎改築、併行防音工事事業、北谷中学校プールろ過装置改修事業、空調機設置事業等による。

◆減少(対前年度比)

●農林水産事業費(11億627万円)

浜川漁港用地購入事業、海岸整備事業、フィッシュリーナ整備事業費の減による

●商工費(885万円)

●公債費(7,498万円)

起債残高減少による起債償還額の減

重点施策事業

（特に力を
入れたもの）

平和行政基地問題の解決

● 平和の尊さを広め平和で安らぎのあるまちづくりを推進。

● 「広島・長崎平和学習派遣事業」「戦時体験者講話」実施。

● 基地から派生する事件・事故、騒音等に三市町村連絡協議会、関連機関と連携し行動。



平和学習事業 北谷中・桑江中の生徒が派遣された長崎県

基地跡地利用の推進

● 桑江伊平区画整理事業の「職住近接型」まちづくり継続推進。

住みよい住環境の整備

● 幹線道路の円滑な交通機能確保のための道路整備。町道の適正管理による地域間の交通の便利性を図る。

● 新川墓地公園事業の推進。

● 町宮砂辺住宅の本年度着工。

● 老朽化した吉原地域の排水管等を更新する。

● 県や関係機関と連携し、白比川河川改修事業、宮城海岸高潮対策事業の促進。ごみの減量、再利用、再生利用を促進。



白比川改修事業



宮城海岸高潮対策事業

産業振興と 雇用の創出



マリンスポーツ海業振興センターイメージ図

● マリンスポーツの振興及び体験・滞在型の観光メニューの創出。既存地場産業の育成と町産品開発及びその情報発信の調査研究に取り組む。

● フィッシュャリーナ事業地区、桑江伊平土地区画整理地区への企業誘致により雇用・就業の場を確保。

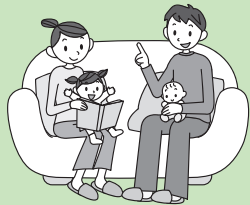
平成23年度予算の

教育文化の推進

- 浜川小学校改築事業、北谷中学校プールろ過装置改修および冷房設備改修事業実施。
- 学校ICT機器を活用した指導法の改善等を通し学習内容の確実な定着化を図る。
- 学校教育活動全体を通し健康の保持増進及び体力の向上を図る。全幼小中に、英語指導助手を配置あわせて、英国派遣交流事業を推進し国際化に対応できる人材育成を図る。
- 特別支援教育の充実を図る。
- 町図書館によるブックスタート事業の実施。
- 青少年支援センター、関係機関と連携し、青少年の団体活動地域活動、社会体験活動への参加促進。
- 放課後子ども居場所づくり推進と学童クラブへの助成実施。
- 伊礼原遺跡整備推進。



ろ過装置改修される北谷中学校プール



子育て支援、健康福祉の推進

- 地域の保育の核、栄口、上勢保育所の統合整備し発達支援施設を併設。
- 延長保育、休日保育の実施に取り組む。
- 認可外保育所入所児童への補助枠の拡大。
- 子宮頸がんワクチン等に全額助成し、人間ドック、脳ドックの選択受診を図る。筋力トレーニング施設の供用開始、町民の更なる健康増進に活用を推進。
- 障がい者の病院、施設からの地域移行支援。地域での生活支援、社会復帰支援推進する。
- 国民健康保険葬祭費支給額の引き上げと後期高齢者医療被保険者への葬祭費助成を行う。
- 「健康長寿」の実現の支援。平成23年5月開所の小規模多機能型介護事業所支援、地域密着型介護サービスの充実強化を図る。



完成した小規模多機能型介護支援事業所(宮城屋外運動場近く)

行政改革の推進

- 職員の適正な人員配置、定員管理。
- 町政の情報開示を推進。広報紙、ホームページの充実を図る。
- 住民本位の視点と費用対効果の視点に立った行政サービスと効率的な行政運営に資するため、電子自治体の構築を推進。



23年度事業箇所紹介

北玉公園整備事業

事業年度:平成20年～27年度
面積:A=0.44ha
全体事業費:約4億4,000万円
(特定防衛施設周辺整備調整交付金)



宇地原公園整備事業

事業年度:平成18年～23年度
面積:A=0.86ha
全体事業費:約7億7,700万円
(防衛施設周辺整備補助金)



桑江中学校 テニスコート整備事業

全天候型3面 整備面積:2,095m²



トレーニング連動施設 整備事業

事業期間:平成19年～22年度
(約630m², RC平屋建)
事業費:約2億2,000万円



電線共同溝事業

美浜2号線220m
平成23年度(電線共同溝事務委託)
24年度(工事施工)



浜川小学校校舎改築工事

延床面積:約7,400m²、
3階建、鉄筋コンクリート造



フィッシャリーナ整備事業

平成23年度事業:CD点地区公募分譲
(仮)海業振興センター計画



北谷町平成22・

公立保育所整備事業

米口保育所と上勢保育所を統合して
90名定員の公立上勢保育所として整備する。
米口保育所の跡地は認可保育園の予定。



うちなあ家 トイレ増築事業



伊礼原遺跡用地取得事業

平成23年度繰越事業費:約14億9,400万円
用地購入面積:約1万7千m²(国庫補助80%)



桑江伊平土地区画整理事業

地区面積:45.8ha 総事業費:約66億円
施工期間:平成15年~26年度

埋蔵文化財発掘調査

調査面積:約4.9ha 総事業費:約11億円
調査期間:平成16年度~25年度

桑江排水路整備事業

平成22年度事業費:約2億円(補助率90%)
施工期間:平成22年2月5日~23年2月15日



町営砂辺住宅建替 整備事業

総事業費:約21億円
I期工事:平成23年~25年度
II期工事:平成26年~27年度

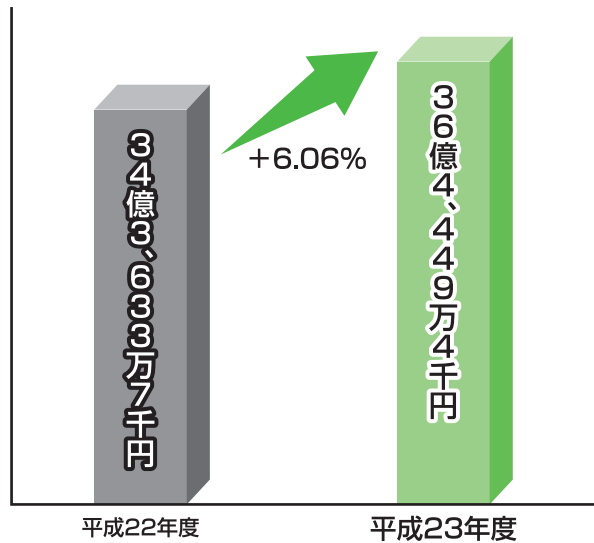


特別会計予算



国民健康保険特別会計

(単位:千円)



前年度当社予算に比べて、
2億815万7千円(6.06%)の増額となっている。

歳入歳出予算の総額は36億4,449万4千円で、前年度比6.06%の増額。

主な要因は、保険給付費の増加。

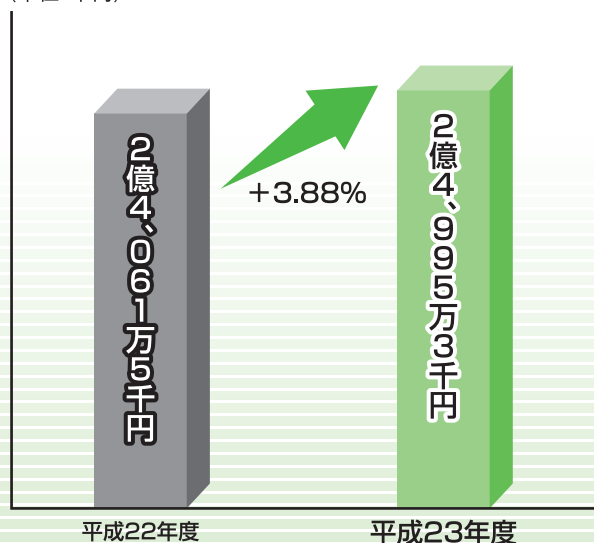
葬祭費の支給額が、国民健康保険の加入者は昨年の1件当たり1万5千円を今年から1件当たり4万円に引き上げ、48件を見込み192万円を計上。

出産育児一時金は本年4月以降も引き続き42万円を支給。年間120件を見込み5,040万円を計上。



後期高齢者医療特別会計

(単位:千円)



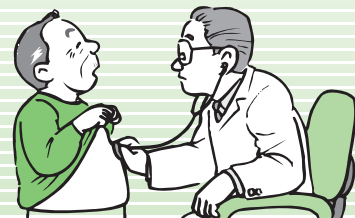
前年度当社予算に比べて、
933万8千円(3.88%)の増額となっている。

歳入歳出予算の総額は2億4,995万3千円で、前年度比3.88%の増額。

後期高齢者医療保険料は1億9,670万2千円で、前年度と比較すると462万5千円の増。

主な要因は、被保険者数の増加。

※これまで後期高齢者医療制度の加入者に葬祭費の支給は、沖縄県後期高齢者医療広域連合から2万円のみでしたが、本年度から町独自に2万円助成することで、合計4万円の支給となります。

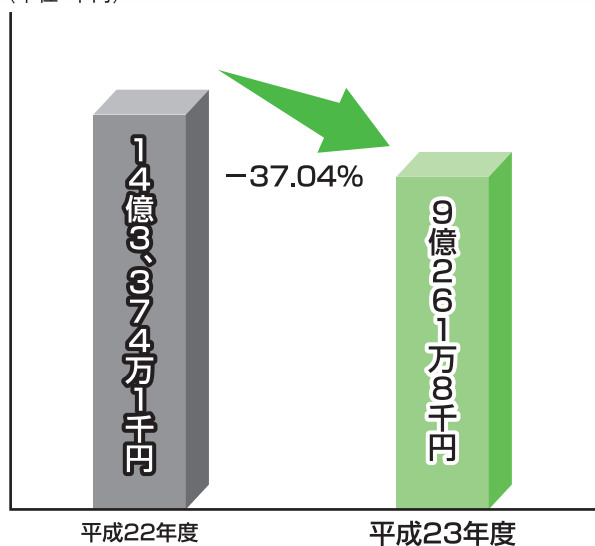




平成23年度

公共下水道事業特別会計

(単位:千円)



前年度当社予算に比べて、
5億3,112万3千円(37.04%)の減額となっている。

歳入歳出予算の総額は9億261万8千円で、前年度比37.04%の減額。

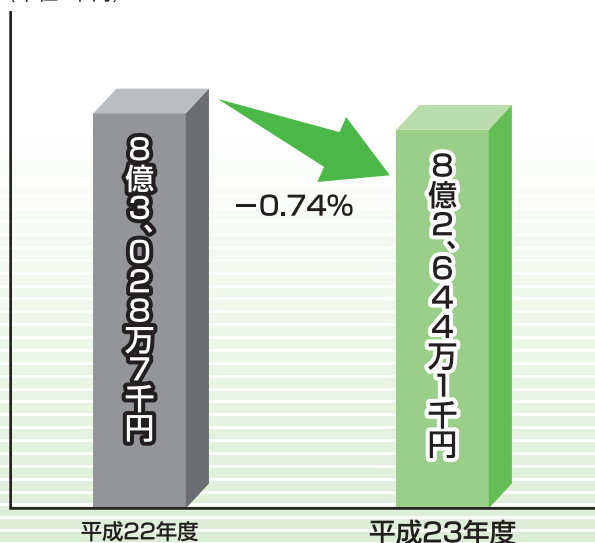
主な要因は、桑江排水路事業等の完了による減。
公共下水道の使用料は4億1,042万2千円で前年比911万3千円の増。

主な理由は、一般下水道で前年度比180世帯増えたことと、米軍基地の嘉手納・桑江・瑞慶覧で900万円増えたこと。



水道事業会計

(単位:千円)



前年度当社予算に比べて、
615万4千円(0.74%)の減収となっている。

水道事業収益は8億2,644万1千円で前年度比0.74%の減収。

水道事業における給水予定量は、給水戸数1万710戸で年間総給水量368万5千398立方メートルで一日平均給水量1万69立法メートルを予定。

主な要因は、景気の低迷により営業用などの消費水量の減少が見込まれるため。

主要な建設改良事業として、桑江伊平土地区画整理事業地内及び吉原地内の配水管布設工事と消火栓設置工事等。



原案
可決

条例の改正・請負契約

条例の改正

北谷町の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

改正の主旨

年次有給休暇の付与時季を地方公共団体の会計年度と同一の期間とすることで、各種行政事務との整合性を図り、もって事務の効率化を図るため、年次有給休暇の付与時季を改正する。

があり、改正する。

北谷町手数料条例の一部を改正

改正の主旨

「住民基本台帳カード無料交付に係る国の特別交付税500円加算措置」が平成22年度をもって終了することとなり、手数料を徴収するための改正。

北谷町国民健康保険条例の一部を改正

改正の主旨

小児化対策として暫定的に引き上げている出産育児一時金の支給額の恒久処置化を図るため、また、北谷町の国民健康保険葬祭費について、町民の経済的負担を軽減するために当該葬祭費の支給額を引き上げる必要



請負契約

平成22年度桑江地区污水枝線工事(その2)

現在、施行中である桑江伊平土地区画整理事業地内における污水管渠の整備。

契約の金額…5,056万8千円

契約の相手方…北谷町字浜川48番地

商号…旭建設株式会社

代表者…代表取締役社長 翁長 淳

宇地原公園整備工事(第2期)

宇地原地域における住民の憩いの場、

また、災害時の避難場所として、住環境の向上を図るための整備。

契約の金額…1億6,784万4千6百円

契約の相手方…北谷町字伊平411番地の3

商号…株式会社シンケン開発

代表者…代表取締役 許田 弘

浜川小学校校舎併行防音工事(除湿・換気)

浜川小学校校舎併行防音工事(除湿・換気)の工事箇所は、浜川小学校舎改築工事に伴う併行防音工事の除湿換気設備工事一式。

請負金額…8,809万5千円

契約の相手方…北谷町字吉原271番地

商号…有限会社真栄工業・有限会社当山設備興業建設工

事共同企業体…代表者 有限会社真栄工業 代表取締役 真栄城兼宜

構成員…有限会社当山設備興業 代表取締役 当山 幸明



追跡 フィッシャリーナ整備事業

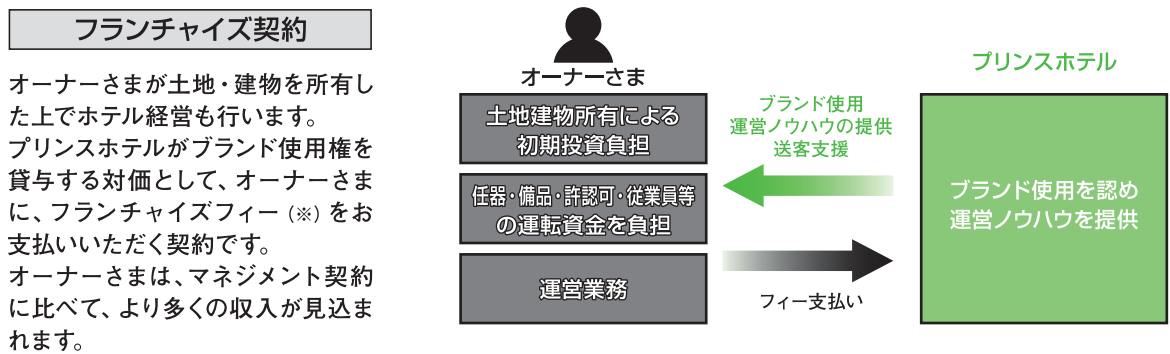
インパクト事業の進捗状況は…

Q1. プリンスホテルとの事業解約!!これからどうなる?

A 今年11月8日までホテル建設の方針は変わりません!

Q2. プリンスホテルとの事業解約内容は?

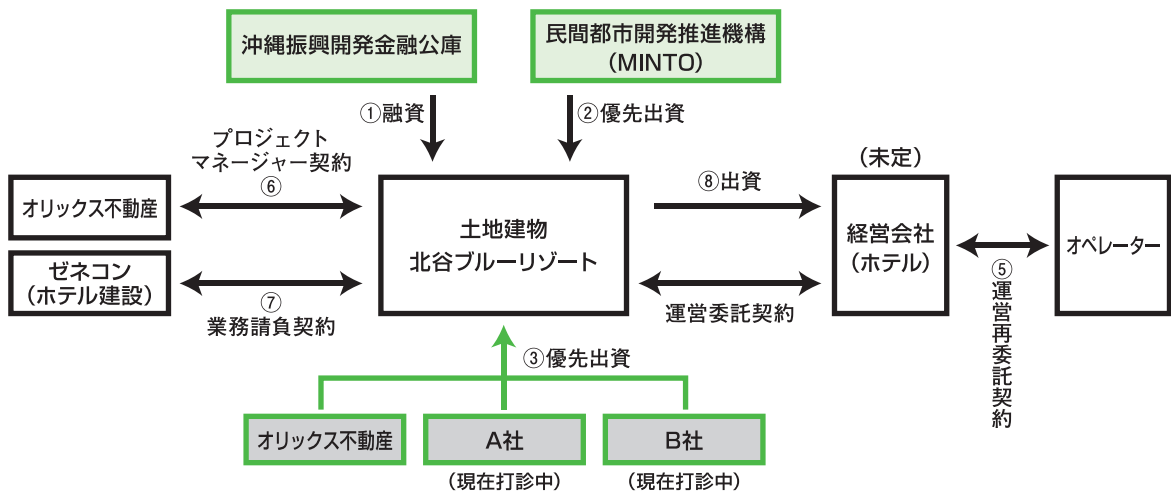
A 契約形態はこの様になってました。



※フランチャイズフィーとは、フランチャイズ契約に伴い、支払う一時金あるいは加盟料。

Q3. インパクト事業のホテルはどうやってつくられる?

A インパクト事業のスキームイメージ図です。



これから正念場を迎えるフィッシャリーナ整備事業! 追跡に乞うご期待を!!



特別会計補正予算

原案
可決

■一般会計

補正前の額 144億8,030万9千円

補正額 △11億1,834万1千円

補正後総額 133億6,196万8千円

歳入は：主に地方消費税交付金等の各種交付金の補正、地域活性化・住民生活に光を注ぐ交付金及び地域活性化・きめ細かな交付金の補正や基金繰入金の補正が中心となった。

歳出は：人件費、物件費、扶助費やフィッシャリーナ整備事業及び浜川小学校校舎改築事業に係る普通建築事業費等の補正。

■主な歳入の増減

町税：172万7千円増(法人税の増)

地方交付税：2,332万円増

国庫支出金：5,905万9千円減

国庫負担金

子ども手当：1,887万5千円減

国庫補助金：4,039万2千円減

県支出金：1,193万円減

県負担金

子ども手当県負担金165万2千円減

県補助金

児童福祉費350万6千円減

保健衛生費乳児医療費251万6千円減

放課後子どもプラン事業費51万2千円減

寄附金

ふるさと応援寄附金：300万9千円増

基金繰入金：9億309万9千円減

浜川漁港多目的利用施設整備地区開発基金

繰入金8億2,358万6千円減

諸収入：3,615万2千円

町債：2億2千900万円減

■主な歳出の増減(性質別経費で説明)

人件費：2,702万6千円減

物件費：6,729万円減

需用費・役務費等減、図書費備品購入費増

埋蔵文化財調査委託料等減

扶助費：2,128万6千円減

子ども手当2,220万円減

乳幼児医療費1,203万円減

補助費：714万3千円増

比謝川行政二部事務組合負担金796万4千円増

インフルエンザワクチン接種費用助成事業国庫支出

金精算返納金962万円増

普通建設事業費：10億1,417万4千円減

フィッシャリーナ地区基盤整備工事：

7億4,006万4千円減

浜川小学校校舎改築工事1億919万9千円減

繰越明許費補正10億8,493万8千円 25件

事業の年度内での完了が困難なため調整上所要の措置を講ずる。

【主な事業】

衛生費：塵芥車購入事業677万3千円

農林水産業：フィッシャリーナ整備事業9,086万9千円

土木費：新川線新設事業1,890万1千円

桑江15号線道路改良事業2,112万6千円

宇地原公園整備事業4,185万5千円

町営砂辺住宅整備事業4,691万円

教育費：浜川小学校校舎改築事業7億3,664万4千円

浜川小学校校舎併行防音事業6,739万7千円

北谷中学校校舎防音機能復旧事業6,484万円

図書備品購入・うちなあ家トイレ増築事業等。

平成22年度 一般会計

■ 特別会計

国民健康保険特別会計

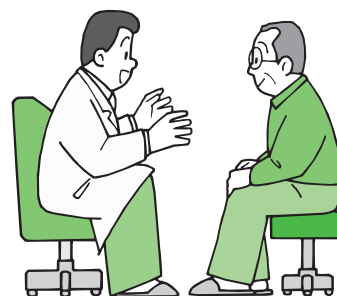
補正前の額	35億172万5千円
補正額	△4,267万7千円
補正後総額	34億5,904万8千円



【主な内容】 歳入は：療養給付費交付金1,094万8千円の増。国庫支出金289万4千円増。
県支出金2,455万6千円減。共同事業交付金3,196万3千円減。
歳出は：保険給付費2,000万円の増。共同事業拠出金5,273万3千円減。

後期高齢者医療特別会計

補正前の額	2億4,365万7千円
補正額	△405万6千円
補正後総額	2億3,960万1千円



【主な内容】 歳入は：後期高齢者医療保険料490万8千円減。
繰入金117万5千円増。
歳出は：後期高齢者医療広域連合納付金338万5千円減。

老人保健特別会計補正予算

補正前の額	11万3千円
補正額	122万8千円
補正後総額	134万1千円



【主な内容】 歳入は：平成21年度決算剰余金に係る繰越金122万8千円増。
歳出は：平成21年度医療費実績に係る繰出金123万4千円増。
*老人保健特別会計は、今年度限りで終了し今補正が最終となる。

公共下水道事業特別会計

補正前の額	14億6,934万9千円
補正額	△4,851万6千円
補正後総額	14億2,083万3千円



【主な内容】 歳入は：繰入金4,754万3千円減（基金繰入金等）、町債440万円減。
歳出は：美浜地内公共下水道工事の維持補修工事費4,390万円等が減。



抗議決議・意見書・陳情

異常な米軍基地運用に抗議!!

原案可決
 嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する抗議決議及び意見書

伊江島補助飛行場周辺の天候不良のため、嘉手納基地内でパラシュート降下訓練を実施するとの事であるが、伊江島周辺の天候は良好で、天候不良を理由に挙げた説明とは矛盾するものである。一歩間違えれば基地外に降下し、周辺住民に被害を及ぼすことも起こりえた。

原案可決
 嘉手納基地内での即応訓練に対する抗議決議及び意見書

訓練中、サイレン音や拡声器による放送等の音が、早朝から夜遅くまで幾度となく響いている。町民からは、住民感情を無視した基地の運用に疑念の声が上がっており、度重なる訓練に対し強い憤りを覚える。

原案可決
 AV8Bハリアー攻撃機によるフレア誤射事故に対する抗議決議及び意見書

米軍は、安全を最優先にしているとあるが、過去にも同様な事故は発生しており、根絶されることのない現状は、米軍による住民の生命・財産の軽視と言わざるを得ず到底容認できるものではない。

原案可決
 ケビン・メア米国務省日本部長の発言に対する抗議決議及び意見書

沖縄をまさしく植民地扱いした発言で、断じて容認できるものではなく、今の基地を抱える状況、運用上の理由や例外的で気紛れな基地運用で米軍の一方的な態度と重なり、アメリカ政府自体がケビン・メア米国務省日本部長と同じ認識ではないかと不信感が募る発言である。

各常任委員会で審議された陳情

原案可決
陳情採択
 保険料(税)の値上げに直結する国保「単位化」に反対する意見書採択を求める陳情

原案可決
陳情採択
 拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について(お願い)

原案可決
陳情採択
 県立郷土劇場誘致について(陳情)

原案可決
陳情採択
 子宮頸がんワクチンの定期接種と公費助成を求める陳情

陳情採択
 北谷町学校給食センターの食器改善並びに改築について(要請)

不採択
不許可
 公営競技サテライト設置について(お願い)及び(取り下げ)



健康長寿の実現に向けた支援と、介護予防事業の実績を伺う

A 一般高齢者を対象に老人福祉センターで、健康体操を95回、各区公民館で貯筋クラブを556回、保険相談センターで体操教室を42回、膝痛腰痛予防教室を48回実施した



おおはま 大浜 ヤス子 議員

に区分される。第1ランクは5町村で基準月額額は3千490円、第2ランクは13市町村で4千556円、第3ランクは北谷町を含む10市町村で5千243円となっている。

問 小規模多機能型居宅介護事業の場所及び内容は。

答▼場所は宮城屋外運動場東側、内容は「通い」を中心に「訪問」や「泊」を組み合わせてサービスを提供し、在宅生活の継続を支援する。定員25人で通いの定員15人、泊まりの定員が7人となっている。

問 北谷町の介護保険料は他市町村に比べて高いとの町民の声があるが、
答▼保険料は、各市町村ごとの給付実績等から推計されて、3つのランク

学力向上対策実践発表会を実施している。

問 町P連から、給食センターの食器改善並びに改築について要請書が提出されているがその対応は。

答▼現在の施設内の条件で出来るか検討している。改築については検討委員会を設置して協議している。

問 給食費の納付率は、又納付率によってメニューに影響があるか。

答▼平成21年度の納付率は95.4%、納付率によってメニューに影響がないようにやりくりしている。

問 子ども手当を給食費に充てるのは可能か

答▼保護者の同意に基づき徴収できる方向で厚生労働省で検討中である。

墓地対策を伺う

問 具体的取り組みは。

答▼住民との合意形式を得て「墓地区域」「墓地禁止区域」を定める。公共工事等に伴ない移転が必要な墳墓については、

新川墓地公園に集約を図りたい。又、同墓地の20基程度を23年度の早い時期に一般公募したい。

男女共同参画を伺う

問 推進計画の21年度の実績と課題は。

答▼達成及び概ね達成77.5%、不十分20%、未実施2.5%となっている。

問 女性管理職と各種委員会への登用状況は。

答▼係長職35.7%、課長職9.5%、部長職16.6%、委員会32.2%となっている。



小規模多機能施設

Q フィッツシャリーナ事業、ホテル着工は何時か

A オリックス不動産株式会社は、現在交渉中とのこと、着工日の報告はまだ受けていない

喜友名 朝眞 議員

スケジュールを決定する考え。

宮城区「浜屋そば」前町の駐車車両対策を問う



問 管理棟及び（仮称）海業振興センターの事業内容、事業者の公募を伺う。

答 管理棟及び（仮称）海業振興センターは、本町一次産業を軸に地域関連産業との総合連携を促し、地域活性化を図る目的で設置する公の施設。施設建設から管理運営まで一連の計画を民間事業者の資金力、企画開発力及び経営能力を活用した提案を公募に広く求め執行する。

問 マリーナ事業開始はいつか。

答 海業振興センター整備事業執行の決定と併行して具体的運営方針及び

利用率の算出はされていない。

問 琉球銀行北谷支店から北谷第二小学校を通る一方通行を問う

問 現行の一方通行を逆方向から一方通行にしてはどうか、桑江郵便局前の混雑も解消されるのでは。

答 整備の目的は安心、安全に児童が通学できるよう地域住民からの要請で、沖繩署と協議・現場調査の結果スクールゾーンとして位置付けた。当該道路の一方通行の進行方向を逆に変更した場合は、児童の登校時に車両交通量の増加が懸念され、当初の整備目的に反し、児童の安全が確保できない恐れがあることから一方通行の進行方向変更をすることは考えていない。

問 現在の公園利用者は。

答 当該施設は公園ではなく、宮城6号線の附属する遊歩道として設置しているため、公園施設のような管理システムはなく、利用者数等の把握、

問 排水溝の拡張計画はないか。

答 生活用道路として利用されていることから当該排水路の排水能力は十分に満たされている。現在拡張する考えはない。

問 道路の舗装工事の計画はないか。

答 当該道路は、区内道路としての位置付け。行政区の要請に基づき、私道として整備を行うべき。町として舗装工事の計画はない。



北谷第二小学校につづく「ふれあい通」の一方通行はいかに。

Q プリンスホテル計画の見直し、規模等について何らの変化があったか

A 新たな共同事業者から参画条件として施設規模と変更の提示がある可能性についての話はあった

金城 紀昭 議員



問 それ以降、着実に事業を推進するためには何がポイントか。

答 不動産投資マーケットの回復の動き。住宅、商業室ビルが動き出し、その回復の兆しが見られ若干のタイムラグを経てホテル事業にその影響が及んでくると聞いている。

問 処分地C・D・F街区の今後の募集時期、方法は。

答 公有水面埋立免許願書に記載している処分計画に基づき公募。事業者を広く求め、審査の上、選定する予定。

問 ニライ消防、北谷消防の人員、装備、車両の配置等、町民へのサービスの低下はないか。影響はどう考えるか。

答 町内建設企業等の工事への参加以来について回答、反応は。

問 町内建設企業等の工事への参加以来について回答、反応は。

答 地元との連携は不可欠。事業説明会の開催等、商工会や漁業協同組合との情報交換もあると聞いている。町としても、町内事業者と連携した資材の利用や雇用、テナント受入について引き続き要望していく。

問 本町の安心安全を問う

答 広域消防の目的、広域の利点は。

答 消防体勢の充実強化、住民サービスの向上。制度を活用して常備消防の規模を拡大することが目的。

問 ニライ消防、北谷消防の人員、装備、車両の配置等、町民へのサービスの低下はないか。影響はどう考えるか。

答 ニライ消防、北谷消防の人員、装備、車両の配置等、町民へのサービスの低下はないか。影響はどう考えるか。



どうなる消防の広域化（北谷消防）

答▼現場要員が105名と28名の増員が見込める。現在の各消防本部の消防

力、人員、施設、車両及び資機材等は広域化後も現行の消防力を維持。サービスの低下はないと考える。

問 緊急警報の携帯配信は。

答▼今、高度化の中で課長以上の携帯電話に緊急情報のメール送信は可能。地域住民への携帯電話での配信は、新聞報道以外県、町ともに確認していない。今後国の動向

を注視していく。**問** ハザードマップの作成は。

答▼現行の防災マップの見直しを行い、本町の土砂災害警戒区域の指定、災害時避難場所協定締結箇所、防災行政無線の新設場所等を明記する。

LRT、路面電車の導入

問 県内で期待感が高まっているがどう思うか。町内で議論されたことはあるか伺う。

答▼道路交通を補完し、人と環境に優しい公共交通として再評価されていると認識しているが、まだ十分な町内議論には至っていない。

国道58号ルートとして那覇市旭橋から嘉手納町庁舎までの概略ルートが提案をされている。嘉手納以南の米軍用地返還用地跡地利用を見据え、経済活性化や町民の利便性向上の観点から、議論を深め関連市町村長との意見交換等に望んでいきたい。

町の観光情報を発信するための情報センターの計画着手

A 本町を訪れた観光客等に町内の観光情報や特産品等の情報を発信する施設の建設に向けた基本構想を策定する



とくち まさし 渡久地 政志 議員

問 ①「情報通信産業振興地域」指定を活用したベンチャー企業の育成とICT関連企業の誘致及び支援を推進するとなっているが詳細を伺う。②美浜メディアステーションの活用はあるか伺う。

答▼①当該制度は情報通信関連の業種に対して1千万円以上の設備投資等を行った事業者に国税や地方税が優遇される制度②県内では24市町村が地域指定を受けている。町内では3社が活用している。町独自では美浜メディアステーションを拠点に企業の育成及び支援

を図っている。**問** 認可外保育施設への支援、保護者への支援は。

子育て支援、健康及び福祉の推進について

問 認可外保育施設への支援、保護者への支援は。

答▼施設に対して、行事費助成や、損害保険料助成として、それぞれ1万円を上限に助成する。保護者には月額1千円を助成する。23年度は220名分、264万円を予算計上している。

問 地域福祉の具体的取り組みは。

答▼社会福祉協議会は22年度から地域福祉を推進するため、業務分担から地区分担へと事業見直し「地区ワーカー」制をとっている。町と地区ワーカーと積極的に関わり、協働することでコミュニティ・ソーシャル

ワーク機能の充実強化を図っていききたい。**問** 23年5月開所予定（宮城地区）小規模多機能型居宅介護事業所は。他地区への計画は。

答▼当該施設開所後の利用状況の推移を見ながら検討する。

問 住み良い住環境の整備と景観計画について伺う。

答▼地区ごとに高さ・配置・形態意匠・色彩・緑化などについて基準を定め良好な景観づくりに取り組み。

問 広報誌及びホームページの内容を見直す考えはないか。

答▼町民の意見や職員研修及び他の自治体の事例等を参考にして内容等の充実のため尚一層努力していく。

米国務省の日本部長発言を問う

問 ケビン・メア国務省日本部長の発言について町長の意見は。

答▼発言は断じて容認できない。

公営競技場サテライト

問

問 誘致について、町と教育委員会の見解は。

答▼住環境への影響、中学校に近い、北谷町のまちづくりの観点から設置進出は望ましくない。町内のPTA連合会、商工会、女性連合会及び老人クラブ連合会からも反対の意見をいただいている。



どうなる美浜メディアステーションの活用



Q 平成23年度予算を問う

A 有利な補助制度を活用してバランスのよい予算を心がけた

洲謙 長榮 議員



問 平成23年度予算で重点配分された事業は。

答▼ワクチン接種全額公費・認可外保育料及び行事費補助金等の助成・中学校卒業までの入院費無料化継続・葬祭費を国保加入者に2万5千円上乘せ、宇地原公園整備・桑江伊平土地画整理・浜川小学校舎改築、新規事業として町営砂辺住宅建替・北玉公園整備・伊礼原遺跡用地取得等。

問 行政評価はどの点に反映されているか。また予算編成の手順・マニュアルは。

答▼行政評価としての評価書はなく、主要施策の

には至っていない。
問 財務書類に準拠した公会計モデル導入計画は。

答▼総務省方式よりも基準モデルによる財務書類の作成がより正確であり、メリット、デメリットを検討し、公会計モデル導入に向け対応していきたい。

問 普通財産の現状は。

答▼賃貸させている土地10件6、098.76平方メートル、歳入139万6千87円。また無償貸付5カ所、1、864.78平方メートル、その他貸付等可能な土地3カ所、2カ所は役場で使用、更に旧第一保育所跡地がある。最後に公共事業等に協力した方への代替地が3筆627.33平方メートルある。

新学習指導要領は

問 新学習指導要領が改正されるが内容、周知状況・反応は。

答▼パンフレットの配布、教職員研修会の開催、学校便りや学対実践

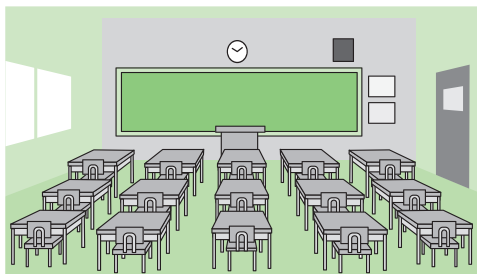
報告会、入学式・PTA総会等で周知を図る。

保護者の反応は、小学校では授業時数の増加で下校時間が遅くなると懸念され、児童生徒は大きな反響はない。教職員は教材研究の必要性、備品の準備の心配があるが大きな問題は生じていない。

消防の広域化は

問 本町の方向性、町民の意見集約は。

答▼消防広域化推進協議会に参加し議論を深化させ最終判断をする。新しい情報が入り次第、広域化検討委員会においてニライ消防・構成町村と共に検討していく。



どう変わる新学習指導要領

Q コミュニティバスの運行は

A 一点だけとらえるのではなく、全体の議論が必要

仲地 泰夫 議員



問 真剣に検討してほしいと思いますが。

答▼バス利用者の確保が難しく、コミュニティバスの運行は馴染まない。

問 アンケート等の調査を実施する考えは。

答▼実施は考えてない。
問 町内バス停の安全性の調査研究の考えは。

答▼県道24号線のバス停は歩道幅員がほとんどなく、歩行者の安全性に難がある、バス会社と現状認識を共有のための協議を行う。
問 バス停の屋根、ベンチの実態調査の考えは。

答▼ベンチ、上屋共に歩道幅員を考慮すると厳しい。
問 国の予算が本町に与える影響は。

答▼削減額は暫定で約2、800万円。
問 サービスの向上は。

答▼町民サービスの向上が図られている。
問 今後、導入を検討している施設は。

答▼整備中の北谷町健康トレイニングセンターやフィッシュヤリーナ地区の、仮称海業振興センターやマリーナ施設も導入を考えている。

減、たばこ税の一部が移譲され町財政への影響はない。

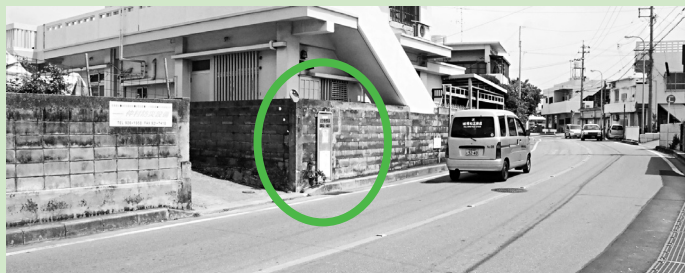
問 子ども手当の本町の負担額と県の負担額は。
答▶本町及び県の負担は、それぞれ1億387万4千円。

問 地方負担分を計上しないという動きにはどのように整理をして計上されたか。
答▶法律の規定に基づき予算を計上。

問 年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ廃止で町財政や町民への影響は。
答▶町は個人住民税で、2億5、700万円の収で、町民への影響は0歳から15歳の年少扶養1人当たり3万3千円、16歳から18歳の特定扶養1人当たり1万2千円の負担増。

子宮頸がんワクチンの公費負担は

問 接種年齢を考えた時、学校現場の取組は大事で、教育委員会との連携は。



危険なバス停の移設が望まれる

答▶学校現場との具体的な連携は、予定してない。

問 半年に3回のワクチンが安定して確保されるよう医療機関との連携は。
答▶関係機関と連携を図り、積極的に情報の把握し、供給体制が整い次第、タイムリーに案内通知を行う。

Q 北谷町青少年支援センター設置の成果を伺う

A 3名の教育相談員による教育相談の対応状況は、年間1000回以上。センターから各学校に心の教室相談員も配置している



亀谷 長久 議員

問 こども会活動、学推協地域部会活動、交通安全登校下校指導等、その他日常の地域活動における子どもたちへの支援状況を伺う。

問 同センターで支援した児童生徒で、中学校卒業後、学業及び生活面について調査したことがあるか、また、保護者からの相談等もある。
答▶青少年の総合的な相談及び指導を行い、健全な育成を図るために設置され、業務内容は、電話、面接、手紙等による教育相談。児童・生徒の生活指導に係る情報の収集及び提供。青少年の健全育成に係る街灯指導及び調査等を行っている。本人や保護者からの相談は、主に不登校や進路相談。

問 同センターで支援した児童生徒で、中学校卒業後、学業及び生活面について調査したことがあるか、また、保護者からの相談等もある。
答▶地域のこども育成活動の一環として、朝の登校安全指導各代表舎会議の開催等、子育てに対する悩みの保護者カウセリングの開催等も行っている。

北谷町ニライまつりを伺う

問 平成22年度北谷町ニライまつり、産業祭りの成果を伺う。
答▶今年度の産業総合展示会は、農産物、テナント等で2日間の来場者は6、287人で、数多くの出品及び出展、で多くの来場者が訪れた。

問 併合同時開催で、生涯学習活動から産業振興へ、地域産業の振興から生涯学習の機会づくりと、総合的に融合してより一層の地域活性化が図られるものである、まつりの成果を伺う。
答▶生産者の努力の成果を広く町民に提供することができ、産業の担い手である生産者の生産意欲の高揚等が図られ、本町の産業振興に資することができた。

問 会場を正面玄関まで広げて行うことは、町民へPR効果が期待される検討する考えは。
答▶異なる二つのイベントを合同開催するには、それぞれの主会場をすみわけて開催することで、双方のイベントをより明確に識別することができ、その趣旨や目的を幅広く伝えることで、まつりのより効果的な管理運営も行えている。会場の広さに限りがあるため、各商工業団体等から出展を制限せざるをえない状況。今後関係機関と協議を行い、検討する。



多くの児童・生徒の相談事業を行っている青少年センター

Q 本町のひとり親世帯の出現率が県平均を大幅に上回る、生活の手だては

A 県母子家庭等終業自立支援センターの就業相談や本町巡回相談日を設け、ひとり親家庭の就業相談に応じている。



たまなは ひろなか
玉那覇 淑子 議員

問 ひとり親世帯の生活相談、悩み相談の取り組み状況は。

答▶生活相談・悩み相談等の窓口はないが主に子ども家庭課の児童扶養手当の窓口で相談を受け、相談内容に応じて、他の関係機関に繋いでいる。

問 ひとり親世帯の公営住宅優先入居の状況を伺う。

答▶22年度から一般申込者とは別に優遇申込者の区分を設けている。公営住宅の入居に関して、母子・父子世帯、生活保護世帯等、総合的に検討していきたい。

たい。

沖縄中部勤労者福祉サービス「ゆいワーク」の推進を問う

問 町内事業所に勤務する従業員の勤労意欲、労働能力の向上、従業員の確保、定着や事業所家族の福祉の向上等を図る上で素晴らしい制度。推進の状況は。

答▶現時点で加入しているの町内の事業所は、84事業所で会員302人。

問 ①運営主体、②市町村の加盟状況、③国・県からの助成等は。

答▶①「財団法人沖縄中部勤労者福祉サービスセンター」。②加盟状況は、沖縄市、北谷町、うるま市、北中城村の4市町村。③県から助成はなく、国からの補助金も22年度で終了する。

基地騒音被害に係る防音工事の見直しを問う

問 全町民が基地の騒音に悩まされている。防音工事の対象が限定されていることは、不公平であり、見直しが必要と考える。所見を伺う。

答▶対象から除外されている建物についても改善が必要と考える。負担軽減が実感できるよう助成対象及び内容等の拡充を要請していく。

北谷海底遺跡卑弥呼伝説と観光産業の振興は

問 観光産業の発展に大きく寄与すると思われる、北谷海底遺跡の究明に本町も協力体制をとり、歴史のまちを確立していく考えは。

答▶海底遺跡は、専門的かつ学術的見地からの検証が必要。その推移を見守って、遺跡の究明に向けて検討して行きたい。

Q 本町の基地外に居住する米軍人軍属の人数、世帯数は

A 毎年3月に防衛省より公表、世帯数の公表はない。



なかむら しげいち
中村 重一 議員

問 ①町内に住所のある米軍基地の地権者数は。

答▶①平成22年の町内在住者の所有は、4145筆。

問 ②県内の他市町村在住の所有は、3915筆。県外在住者の所有は506筆で過去2年と比較して大きく変動はない。③地位協定により登録義務が免除されていた。

問 軍属と賃貸借契約を結んでいる所有者は町内外何人か。町への納税はいくらか。

答▶米軍人等向け賃貸住宅とそれ以外の所有者を分類し、件数を把握することは困難。納税額を算出することは困難。

問 ①借家人届けを求められる届出の条例制定はできないか。②軍人を退役した外国人が引き続き町内に居住する場合は、身分はどうなるか。

答▶①宅地建物取引業法に基づき契約され、家主が借家人の住所氏名を市町村に届ける制度はない。②地位協定により登録義務が免除されていた米軍人、軍属等が除隊すると適用事由がなく、日本に在留を継続する場合は登録義務が生ずる。

住宅リフォーム助成と小規模工事登録制度の制定について

問 「建設不況」で仕事がない中小の建設関連業

者のために、住宅リフォーム助成制度を実施する考えはないか。

答▼国の経済対策による住宅エコポイントの実施や金融機関等によるリフォームローン等も展開されており小規模な修繕工事等が対象である当該登録制度は、近隣市町でも制度を導入しており、町も調査研究したい。

学校グラウンドの芝生化を伺う

問 文部科学省は、子どもスポーツ環境を充実するために、グラウンドの芝生の維持管理、活用等を実施して、校庭や公営グラウンドの芝生化を推進し環境に優しく、生徒がのびのびと活動できる事業を本町でも実施する考えは。



グラウンド芝生化を進めては

答▼校庭の芝生化について、砂塵防止、緑の増大によるヒートアイランド現象の緩和、地域のスポーツ活動の活性化、芝生の弾力性がもたらす安全性、児童生徒が校庭で遊ぶ機会が増え芝生化による効果が謳われているが、反面、でこぼこになったり段差で転倒するという弊害も予想される。

Q 公募の条件に、採用後の町内移住の条件を付与する等の考えは

A 採用後、町内移住の条件を付する考えはない



なかえま えみこ 議員

問 町職員、居住地別(町内・町外)の数は年代が若いほどその割合が逆転している。町長の見解は。

答▼広く優秀な人材の確保を図っている。若職員は町内、町外の割合が逆転している状況。しかし、町内居住者が町外へ受験し、採用されている。
問 職員採用一次試験で、町内活動を加点する等、町民採用を優先する考えは
答▼一次試験において教養試験と事務適正検査を行い、専門職については専門試験も行う。一次試

験合格者は、二次試験において地域活動やボランティア活動などについての面接試験を行い、最終合格者を決定し、採用候補者名簿に登載する。

問 町外職員の住民税や家族等の生活消費も町内ではない。町の見解は。
答▼町内に在住し、町外で就職している方々もいる実態から、マイナスだけではない。

問 町民の採用が少ないことは、町の人材育成がうまくいっていないことか。
答▼隣市町村に、町の住民が試験を受け採用されている。人材育成がうまくいっていないことにはならない。
問 住民に添う姿勢が必要な担当課等に、町外職員が過半数所属している。住民は今の考えで満足していると考えるか。

答▼住民並びに他市町村の方々から評価され、職員も奉仕者として自信をもって日々業務を行っている。

社会教育団体の活性化への助成は

問 婦人会や青年会など地域コミュニティの核となる団体の活性化に助成する考えは。
答▼要請に応じて資能力の向上に向けた研修会や意見交換等の場を設けていく。

生ごみ減量化を図る段ボールコンポスト

問 補助金制度は、年間何件の申請があり、幾ら補助金を交付しているか。また、その費用対効果は。
答▼平成21年度は5件で10万円、平成22年2月末まで4件で5万2、315円。現在、費用対効果を出せるまでには至っていない。
問 安価で効果のある段ボールコンポストの普及に助成を行う考えは。
答▼上勢区婦人会との意見交換等も行い研究を行う。



職員の町内・町外在住の比率は (庁舎役場正面玄関)

Q 仲介的役割の窓口を設置できないか

A 担当部署が事故当時間の窓口となつて、適切に取組んでいく

平良 徹夫 議員



町営砂辺団地の建て替え

問 建て替え工事はいつから着工するか
答 1期工事につきましては平成23年度に着工する予定。

問 軍人・軍属との涉外交通事故について、平成21年度及び平成22年度、沖繩署管内で発生した涉外交通事故の件数は。

答 沖繩署管内における市町村別の統計整理がなされていないことから、本町における件数については把握できない

問 軍人・軍属と交渉ができる状況の相談窓口を設置できないか。

答 米軍人等の交通事故が発生した場合の賠償に
関連する業務は、沖繩防衛局が所管する事務である。

問 駐車スペースを増設できるように計画を変更できないか。

答 1世帯につき1台の駐車スペースの確保を基本。今回の計画は、来客用駐車場の確保とともに、入居者の車両保有状況を考慮しつつ、134台を計画した。

北谷公園野球場の電光式スコアボードの改良は

問 パネルによるスコアボードを電光式スコアボードに改良できないか

答 野球場の活用形態や費用対効果に応じた整備計画が必要である。電光式スコアボードの改良に
関しては、今後の研究課題。

交通安全施設の設置状況

問 平成22年度中にカーブミラーの設置要請が何

件あつて、何ヶ所に設置したか。また、平成21年度に比べて増減は。

答 平成22年度のカーブミラーの設置は、自治会からの要請が2件。さらに、職員の日常パトロールにより、設置が望ましいと判断された3か所を含め、計5か所に設置。平成21年度につきましては10か所に設置を行っており、平成22年度の設置箇所は平成21年度に比べて5か所の減。

雇用対策は

問 嘉手納基地周辺住民、約2万2千人の住民が静かな夜を取り戻すため、午後7時から翌朝7時までの飛行差し止め、そして健康被害や精神的被害を被っている等の理由で提訴される。本町でも約3、900人の町民が原告となり、裁判を起こす。町長の御所見は。

答 地域住民は基地から派生する様々な問題に日々悩まされている。町民が原告として国に改善を求めているものと考えられる。地域住民が負担軽減を実感できるよう、粘り強く求めていく。

Q 世帯数、地域別の実態はどのようになっている

A 世帯数や行政区ごとの居住者数等の資料は公表されていない

照屋 正治 議員



の登録及び狂犬病予防接種は。

答 基地外居住者の飼い犬と思われる登録数は46頭で、狂犬病予防注射済みは27頭。

雇用対策は

問 施政方針に、関係機関と連携を図り若年層の就業支援を行うとのことであるが、平成22年度の緊急雇用対策の実績と平成23年度の同事業の内容は。

答 平成22年度は緊急雇用創出事業の、9件の事業を実施。また、雇用再生特別事業では2件の事業を実施。平成23年は、4件の事業実施と13人の雇用が予定。雇用再生特別事業は、前年度同様の予定。

問 フィッシュリーナ事業及び桑江平地区区画整理地区への企業誘致に

関する資料は、

関係する資料は、

よる雇用見込と桑江伊平地区への企業誘致の取組は。

所に植栽。センダンにつきましては、北玉小学校等7ヶ所植栽。

答▼沖縄県軍用地等連合会館建設用地の街区で、町有地の残用地と民有地を一体利用することによる企業誘致を進めている。現段階で、地権者等との企業立地に関する情報共有を促進する状況である。桑江伊平地区における企業立地に係る雇用見込は推計できない。

問 植栽の選定はどのように行っているか。

答▼地域における特性や耐風性、耐塩性、気象条件に適合するか、地元の見解、景観等の考慮しながら樹木・花木の選定を行っている。

問 緑石が車道に傾いたり、歩道が盛り上がり、歩道がある。その対策は。

問 町花・町木の見直しは

答▼道路構造物の破損の状況等を勘案し、樹木の撤去や歩道舗装、緑石の改修を行っている。

問 町制施行30周年をめぐりに町花・町木の検討結果を出したいとのことであったが、検討結果は。

答▼早期に検討結果を出せるよう努力したい。

問 植栽している場所と、どのような植栽か。

答▼フリソシンカは、安良波公園等7ヶ



よぎ まこと 與儀 誠議員

Q 早急に道路の改良に取り組み考えは

A 信号処理の変更と改良以前に処理すべき課題もある。道路改良事業への取組については、慎重に対処する

問 コザ信金北谷支店前の町道砂辺浜川境界線は、国道58号への出口が一車線のため、大きな交通渋滞を招いている状況にあり、渋滞解消のため、早急に道路の改良に取り組みが必要があると考える。当局の対策は。

答▼国道58号出入り口付近は、朝・夕の通勤通学時間帯の国道58号向け車線で、一時的に車両の滞留みられるが、他の時間帯には円滑な交通機能は確保されている。朝夕に見られる砂辺、浜川境界線における車両滞留は、主に国道58号、那覇方面から嘉手納基地第一ゲート入口の右折帯に、嘉手納基地への進入車両が殺到することに伴い、砂辺、浜川境界線から第一ゲートに入るために国道58号の右折帯に進行できない車両が後方車両の進行を妨げていることも一つの要因である。

問 当該道路の円滑な交通処理については、第一ゲート付近一帯の国道58号の交差点改良、また信号処理の変更と砂辺、浜川境界線の改良以前に処理すべき課題もある。

問 町道桑江5号線の末吉アパート前付近の坂道は、交通事故が多く、坂道には滑り止めの舗装が必要では。



渋滞解消のため早急な道路改良は

答▼事故の要因として、直線道路で下り勾配であるためスピードが出やすい。今後の対策は、現場の状況の更なる調査や関係機関からの意見聴取や

問 ちやたんニライセンタリー前の町道競技場線は、街灯が少ないとの地域住民からの声があるが、街灯の増設は。

答▼競技場前線は、幅員12メートル、延長586メートルの町道で、昭和49年3月25日に道路認

定、昭和57年9月16日に区域の決定及び供用開始を行っている。当該道路は古くから謝苜区と桑江区を接続する幹線道路として活用され、琉銀北谷支店からニライセンタリー前に掛けては、道路照明が少なく、歩行者及び通行車両の安全確保が懸念され、年度末までには同区域に道路照明を2基増設する予定。

問 ちやたんニライセンタリー前の町道競技場線は、街灯が少ないとの地域住民からの声があるが、街灯の増設は。

答▼競技場前線は、幅員12メートル、延長586メートルの町道で、昭和49年3月25日に道路認

定、昭和57年9月16日に区域の決定及び供用開始を行っている。当該道路は古くから謝苜区と桑江区を接続する幹線道路として活用され、琉銀北谷支店からニライセンタリー前に掛けては、道路照明が少なく、歩行者及び通行車両の安全確保が懸念され、年度末までには同区域に道路照明を2基増設する予定。

問 ちやたんニライセンタリー前の町道競技場線は、街灯が少ないとの地域住民からの声があるが、街灯の増設は。

答▼競技場前線は、幅員12メートル、延長586メートルの町道で、昭和49年3月25日に道路認

定、昭和57年9月16日に区域の決定及び供用開始を行っている。当該道路は古くから謝苜区と桑江区を接続する幹線道路として活用され、琉銀北谷支店からニライセンタリー前に掛けては、道路照明が少なく、歩行者及び通行車両の安全確保が懸念され、年度末までには同区域に道路照明を2基増設する予定。

問 ちやたんニライセンタリー前の町道競技場線は、街灯が少ないとの地域住民からの声があるが、街灯の増設は。

答▼競技場前線は、幅員12メートル、延長586メートルの町道で、昭和49年3月25日に道路認



町花・町木の見直しするべきか

人が人にやさしさを



ライオンズクラブ国際協会3371D地区
北谷ライオンズクラブ
会長 外間 宏治

北谷ライオンズクラブは、2001年6月に設立し国際会長より認証受け世界で4万4、481番目、D地区137番目、県内では27番目として10周年を迎えております。

ライオンズクラブは世界では206ヶ国、会員数134万人余りを推す国際奉仕団体であります。モットーは「ウィザース（われわれは奉仕する）」を掲げて活動を続けております。そのような中で当クラブでは、青少年健全育成、三献（献血・献眼・献腎）運動、社会福祉支援活動、環境保全等を推進しております。

青少年健全育成においては町内の11、13才を対象に世界平和ポスターコンテストを開催し、3年前は桑江中より日本代表として世界大会へ出展され昨年は「平和へのビジョン」をテーマに掲げ今年には「子どもたちは平和を知っている」

をテーマにして町内の小中学校へ公募予定です。また、青少年交換事業（YCE事業）として今年も海外からの留学生を受入し交流を計りながら将来においては町内の子供たちを派遣したいと思っております。

中学校においては、青少年健全育成プログラム・ライオンズクエスト「思春期のライフスキル」を実践導入の前準備として先生方の協力の元にワークショップ開催の実現に向けて計画して行きたいと思っております。

また、スペシャルオリンピックス大会を応援しつつ、スペシャルオリンピックス日本・沖縄の支援等など個々の事業を通じ地域にとけこみ地域での共同体として参画して行きながら、住みよく楽しく安心して暮らせる町づくり人づくりにより、人の心が朗らかに地域発展に寄与することを願ひ奉仕活動に気軽に参加してくださるようご協力をお願いします。

最後に、ライオンズのLは法（Law）、自由（Liberty）、労働（Labor）、忠誠（Loyalty）、愛（Love）、生命（Life）、そしてライオン（Lion）を象徴しており、「奉仕の心掲げる」有志皆様方のライオンズクラブ入会をお待ちしております。

We Serve



読者からの声

平成23年6月定例議会傍聴へ行こう!!



議会傍聴の案内
平成23年6月定例会
6月15日(木)開会予定

インターネットで町議会を知ろう!!

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町HP

北谷町議会

議会議事録公開

詳細は北谷町ホームページで
検索サイトで

北谷町議会 検索

あなたも町議会を
傍聴してみませんか?



北谷町ホームページアドレス <http://www.chatan.jp>

【お問い合わせ】 議会事務局 ☎936-3382 FAX 936-9712

編集後記

● 去る3月11日に県内中学校では卒業式が行われました。各中学校ではこれから輝く未来へ羽ばたこうとする子ども達が祝福を受けていたため、たい日に、東北ではこれまでにない大震災が起きてしまいました。

● 連日マスコミによって報道され、テレビの映像を通してみる光景のあまりの無惨さに今もって何と言葉をかければいいのか言葉がみつかりません。災害にあわれた東北の方々の一日も早い復興を心から願うばかりです。

● 北谷町議会では3月定例会で義援金を送ることを全会一致で可決し、早速日本赤十字社をはじめそれぞれの支援先に送金しました。

● 北谷町の平成23年度一般会計予算が決まった。総額は154億5、500万円。
町営砂辺住宅建替整備事業、公立保育所整備事業、北玉公園整備事業、ワクチン接種全額補助、国保加入者や後期高齢者医療制度加入者への葬祭費、出産育児一時金が引き上げられました。

● 議会広報委員会では議会だよりの編集や議会活動に役立てたいと言うことで、町民の方にアンケートをお願いしております。各公民館やニライセンター、老人福祉センター等にアンケート用紙を置いてありますので、町民のご協力をお願いします。

編集委員 平良徹夫

北谷町議会事務局

電話：936-13380
FAX：936-19712

意見・ご感想はこちらへ

表紙説明：北玉小学校入学式の新入生児童あいさつで、新入生代表の照屋倫くんと津嘉山優希さんです。
元気いっぱい「1年生になったら」を歌う姿と、先輩のお兄さんやお姉さん達に手を引かれて歩く姿が初々しく誇らしげでした。